

研究課題名	B型慢性肝炎の核酸アナログ治療でみられる薬剤低反応性症例に関連する因子の検討
所属(診療科等)	長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター消化器病態学研究グループ
研究責任者(職名)	中野 雄介(研究員)
研究期間	2021年10月21日～2024年3月31日
研究目的と意義	B型慢性肝炎に対する核酸アナログ治療を受けている患者さんにおいて治療効果と関連のある因子について検討します。本研究により、将来、核酸アナログ治療の方針を考慮する上で重要な知見が得られることが期待できます。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>当院にて2009年 4月 1日～2021年 5月31日の間にB型慢性肝炎と診断され核酸アナログ治療を受けた患者さん</p>
	<p>●利用する情報</p> <p>・患者背景：診断名、年齢、性別、身長、体重、合併症、既往歴、肝炎治療歴、肝癌治療歴、肝生検病理所見、内服薬情報、肝不全症状の有無  ・血液学的検査：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血小板数  ・血液生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、LDH、ALP、<math>\gamma</math>-GTP、T-bil、D-bil、血糖、総コレステロール、中性脂肪、LDH、HDL、尿酸、CK、Na、K、Cl、BUN、Cre、AFP、PIVKA-2、NH3、CRP、M2BpGi  ・ウイルス学的検査：HBV、HCV、HIV、HTLV-1、HBV塩基配列、HBV抗原・抗体量(HBs、HBe、HBc)、薬剤耐性変異</p>
	<p>●研究方法</p> <p>上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。  ・核酸アナログ製剤(ラミブジン、アデホビル、エンテカビル、テノホビル)の服用前後における、肝機能、血中ウイルス量、ウイルス遺伝子配列、ウイルス抗原・抗体量など</p> <p>また診断で用いた血清の余りを用いて、HBVの遺伝子配列の解析を行います。HBVの遺伝子情報のみを取り扱うため、ヒトゲノム情報といった患者さん個人の遺伝情報を取り扱うことはありません。</p>
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町6番39号</p> <p>電話：095(822)3251</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00(土日祝日を除く)</p>